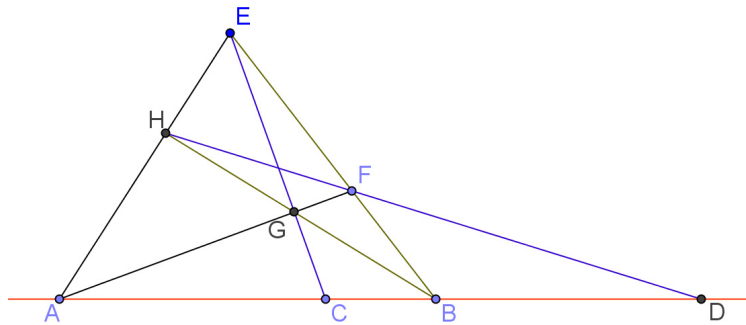


調和共役 (harmonic conjugate)

1. 定義

1 直線上の 4 点 A,B,C,D が, ある四角形 EFGH に対し図のような関係にある時, 即ち四角形の 2 組の対辺の交点を A,B, 対角線と直線 AB との交点が C と D のとき,

「4 点 A,B,C,D は調和点列」, 「2 点 A,B に対する, 点 C の調和共役点は D」 或いは「2 点 A,B に対し, 点 C と D は互いに調和共役」 などと言い $H(AB,CD)$ と表します.



このとき, 「メネラウスの定理」と「チェバの定理」より,

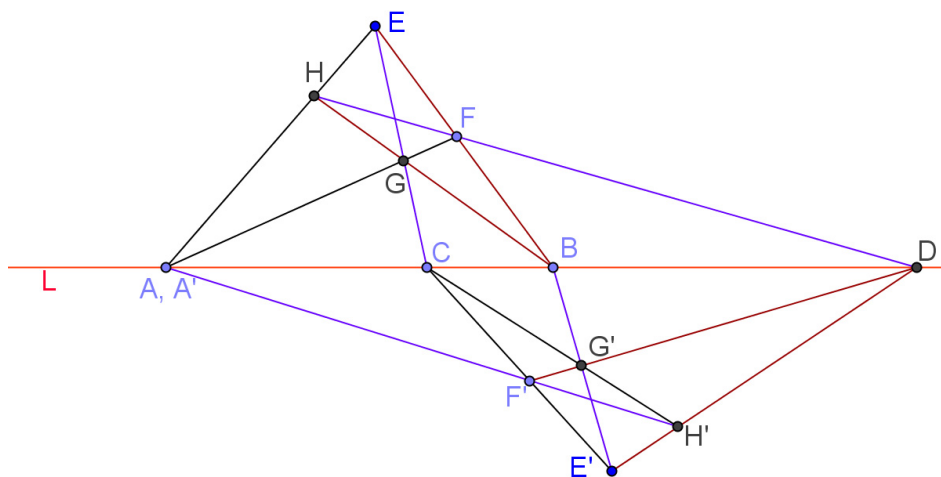
$$\frac{\overline{EH}}{\overline{HA}} \cdot \frac{\overline{AC}}{\overline{CB}} \cdot \frac{\overline{BF}}{\overline{FE}} = 1 \quad \text{かつ} \quad \frac{\overline{EH}}{\overline{HA}} \cdot \frac{\overline{AD}}{\overline{DB}} \cdot \frac{\overline{BF}}{\overline{FE}} = 1$$

よって,

$$\frac{\overline{AC}}{\overline{CB}} = \frac{\overline{AD}}{\overline{DB}} \iff \frac{\overline{AC} \cdot \overline{DB}}{\overline{AD} \cdot \overline{CB}} = 1 \iff [A,B|C,D] = 1 \dots (*)$$

従って E や F などの取り方によらずに, 3 点が決まると 残りの 1 点は確定します.

定義より $H(AB,CD)$ なら「 $H(BA,CD)$ かつ $H(AB,DC)$ かつ $H(BA,DC)$ 」ですが、
 更に $H(CD,AB)$ も成り立ちます。



[definition.ggb](#)

上図で、四角形 $EFGH$ に対しては、 A, B が対辺の交点、 C と D は対角線上にあります。
 よって、 $H(AB,CD)$ です。ここで L の下側に、点 E' をとり、直線 CE' 上に F' を、次に
 直線 $BE' \rightarrow$ 直線 $DF' \rightarrow$ 交点 $G' \rightarrow$ 点 H' の順に、四角形 $E'F'G'H'$ を作ります。そして直線
 $H'F'$ と L の交点を A' と定めると、 $H(CD, A'B)$ です。故に前頁より $[C, D | A', B] = 1$ です。

ところが、複比の性質により、

$$[A, B | C, D] = 1 \iff \frac{\overline{AC} \cdot \overline{DB}}{\overline{AD} \cdot \overline{CB}} = 1 \iff \frac{\overline{CA} \cdot \overline{BD}}{\overline{CB} \cdot \overline{AD}} = 1 \iff [C, D | A, B] = 1$$

ですから、

$$[C, D | A', B] = [C, D | A, B].$$

したがって、 $A = A'$ です。

【注】 本当は 複比も長さだけでなく、方向を考えないと 厳密な証明にはなりません。
 厳密な証明は、コクセター「幾何学入門」あるいは Coxeter 「Projective geometry」
 をご覧ください。

2. 射影変換との関係

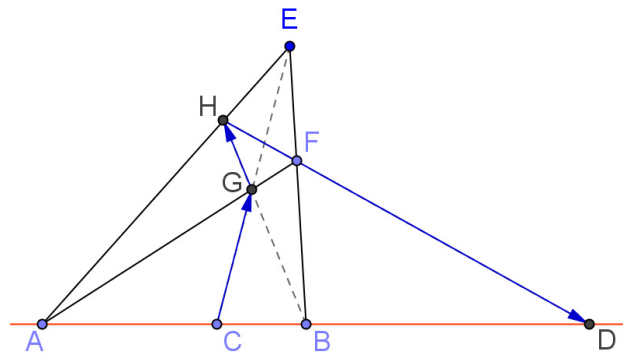
$H(AB,CD)$ のとき, A,B を動かさず, C を D に動かす射影変換が存在します. 下図で順に 点 E,B,G からの射影を考えると,

$$ACB \bar{\wedge} AGF \bar{\wedge} AHE \bar{\wedge} ADB$$

すなわち, 3つの背景写像の合成で「 $ACB \bar{\wedge} ADB$ (A,C,B はそれぞれ A,D,B に移る)」となります. そして「射影変換の基本定理 (一直線上の射影変換は3点の像で決まる)」により, $ACB \bar{\wedge} ADB$ となる変換は唯一つです. 故に

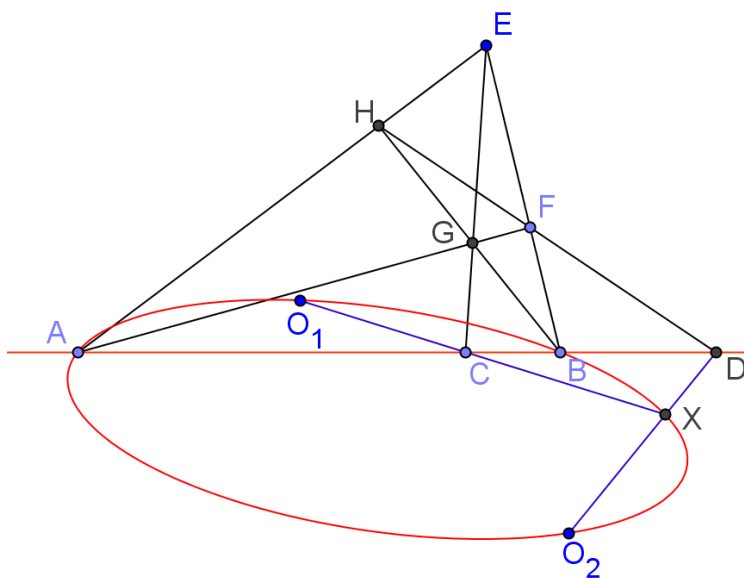
「2点 A,B を動かさない射影変換 f による A,B 以外の点を X とすると, A,B に関し, X と $f(X)$ は調和共役」

になります. また $H(AB,CD)$ なら $H(AB,DC)$ なので, 「 $f(D) = C$ 」も成り立ちます.



[projection with 2 invariant point.ggb](#)

さらに,A,Bを固定,2定点 O_1,O_2 をとり,直線 O_1C と O_2D の交点を X とすると, $f(C)=D$ だから, 直線 O_1C と O_2Q の間に射影変換が存在します. ゆえに C が動いたとき「 X の軌跡は2次曲線」となります. ([Steinerの定理](#)の逆)



[conic.ggb](#)